

(公社) 日本スカッシュ協会定時社員総会報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

2022年6月19日に(公社)日本スカッシュ協会 3F 会議室とWeb会議にて開催されました「公益社団法人日本スカッシュ協会 2022年度定時社員総会」におきまして、下記の議事が検討されましたのでご報告致します。

第1号議案 2021年度事業報告(案)及び財務諸表(案)承認の件

⇒賛成多数で原案どおりこれを可決した。

第2号議案 (公社)日本スカッシュ協会定款の一部変更の件

⇒定款の変更に必要な総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって原案どおりこれを可決した。

第3号議案 2022年2023年度役員(案)改選の件

⇒理事20名監事2名の任期満了に伴い改選が必要となり、役員候補者選考委員会を立ち上げ、重任理事14名、重任監事2名及び新規理事立候補9名による選挙を行い、新たに19名の理事と監事1名を選出した。

<報告事項>

- 1、2022年度事業計画並びに予算の報告
- 2、運営規則の一部変更報告
- 3、加盟団体規程の報告
- 4、日本代表選手並びに役員選考規程の報告

なお、同日総会後に開催された「2022年度第2回理事会」にて審議を行った会長・副会長・常務理事の選出については、次回開催の臨時理事会への持ち越しとなりました。

2021 年度事業報告

公益法人日本スカッシュ協会は、新型コロナウイルス感染拡大により前半は活動がストップしておりましたが、後半コロナの落ち着きに伴い地区支部大会が活発化し、一部再開された海外遠征でもアジアスカッシュ選手権大会で男女共銅メダルに輝く等の活躍がありました。そんな中、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開します。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

■公益社団法人日本スカッシュ協会主催大会

○JSA ジュニアスカッシュオープン2021

日程:6月26日・27日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数:38名

主な結果:

カテゴリー	優勝	準優勝
男女混合アンダー11	小野陽大 メガロス横浜天王町	遊佐アレクサンダー Greetings
男子アンダー13	小野晃延 SQ-CUBE 横浜	石原潤弥 ティップネス宮崎台
女子アンダー15	橘 和花 SQ-CUBE 横浜	桑原杏奈 ティップネス宮崎台
男子アンダー17	加納成海 Greetings	伊藤巨汰朗 ティップネス宮崎台
女子アンダー19	西尾舞洋 ティップネス宮崎台	坂田日葵 SQM アカデミー
男子アンダー19	伊藤幹太 Squash-Life	土岐幸誠 Greetings

○第32回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

日程:7月24日・25日

会場:Greetings Squash Saitama

参加人数:67名

主な結果:

選手権男子 (49人)		
優勝	松本 航太	順天堂大学
準優勝	安成 翔太	東洋大学
選手権女子 (18人)		
優勝	高橋 くるみ	Greetings
準優勝	平野 未悠	順天堂大学

○2021JSA ジュニアサマーチャレンジカップ (ジャパンジュニア代替大会)

日程:11月6日~7日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数:56名

主な結果:

Under19 男子(11名)			Under19 女子(3名)		
優勝	池田 悠真	Greetings	優勝	高橋 くるみ	Greetings
準優勝	Makino Ren	Greetings	準優勝	西尾 舞洋	ティップネス宮崎台
3位	土岐 幸誠	Greetings	3位	門田 涼子	日本大学
Under17 男子(4名)			Under17 女子(10名)		
優勝	横田 夢月	ティップネス宮崎台	優勝	坂田 日葵	SQM アカデミー
準優勝	根本 紘貴	セントラル保谷	準優勝	鈴木 音色	ティップネス宮崎台
3位	伊藤 亘汰朗	ティップネス宮崎台	3位	竹内 美緒	Blueprint 福岡
			Under15 女子(4名)		
			優勝	中島 晶	ティップネス宮崎台
			準優勝	桑原 杏奈	ティップネス宮崎台
			3位	橘 和花	SQ-CUBE 横浜
Under13 男子(10名)			Under13 女子(3名)		
優勝	池田 到真	Greetings	優勝	シニア 英美里	Cools
準優勝	森 悠人	SQ-CUBE 横浜	準優勝	江木 綾音	Greetings
3位	小野 晃延	SQ-CUBE 横浜	3位	小嶋 柚希	Greetings
Under11 男子(11名)					
優勝	小野 陽大	メガロス横浜天王町			
準優勝	安井 大朔	TAC			
3位	安井 陽俊	TAC			

○第 26 回マスターズカーニバル

日程:11月20日・21日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数:43名

主な結果:

	1位	2位	3位
Over 40 男子	中村博之 Team Kawagoe	近藤 博明 S-NICK	
Over 50 男子	森 亨行 関東支部	ミラー トーマス 六丸水産	
Over 60 男子	青木 利明 セントラルスポーツ	森川 文夫 T.I.M.	
Over 70 男子	坂本 聖二 OEC	黒崎 信貴 T.I.M.	
Over 30・40・ 50 女子	神谷 典子 メガロス町田	元木 泉 森山生涯 SC	野田 郁子 セントラルスポーツ
Over 60 女子	足立 美由紀 ポスト	大野 さゆり SQ-CUBE 横浜	
無差別	リチャード ジョンズ OEC	松澤 彩香 Squash-Life	

○文部科学大臣杯争奪第 50 回全日本スカッシュ選手権大会

<令和 3 年度スポーツ振興基金助成事業>

日程:令和4年3月4日~7日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

※トレッサ横浜にての4面ガラスコート設置開催は感染防止対策の為断念

参加人数:95名

主な結果:<選手権男子:48名>

1位	机 龍之介	ダイナム
2位	遠藤 共峻	Greetings
3位	林 尚輝	Greetings
ベスト4	曽根 直樹	慶応義塾大学
ベスト8	安成 翔太	東洋大学
ベスト8	池田 悠真	Greetings
ベスト8	清水 孝典	Special t-hank.s
ベスト8	安藤 優太	日本大学

<選手権女子:47名>

1位	渡邊 聡美	Greetings
2位	小林 海咲	メッドサポートシステムズ
3位	杉本 梨沙	ダイナム
ベスト4	緑川 あかり	Greetings
ベスト8	松澤 彩香	Squash-Life
ベスト8	高橋 くるみ	Greetings
ベスト8	前川 美和	メガロス武蔵小金井
ベスト8	林 美音	聖マリアンナ医科大学

※第50回全日本スカッシュ選手権大会においてドーピング検査(8検体)を実施。
 <令和3年度日本スポーツ振興センターくじ助成事業>

○第26回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

日程:令和4年3月27日~28日

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数:88名

Under19 男子(参加者 11名)			Under19 女子(参加者 4名)		
優勝	池田 悠真	Greetings	優勝	高橋 くるみ	Greetings
準優勝	横田 夢月	ティップネス宮崎台	準優勝	坂田 日葵	SQM アカデミー
3位	中島 青葉	ティップネス宮崎台	3位	鈴木 音色	ティップネス宮崎台
プレート優勝	栗山 樹	修道中高	プレート優勝		
クラシック プレート優勝	Schinaman 開	TAC	クラシック プレート優勝		
Under17 男子(参加者 12名)			Under17 女子(参加者 9名)		
優勝	Makino Ren	Greetings	優勝	緑川 あかり	Greetings
準優勝	土岐 幸誠	Greetings	準優勝	西尾 舞洋	ティップネス宮崎台
3位	伊藤 幹太	Squash-Life	3位	坂本 悠	洗足学園
プレート優勝	藤原 光	修道中高	プレート優勝	佐野 HerringKathryn	セントマイケルズ大学高 等学校
クラシック プレート優勝	三坂 英輝	SQM アカデミー	クラシック プレート優勝		

Under15 男子(参加者 6 名)			Under15 女子(参加者 5 名)		
優勝	高橋 秀侑	Greetings	優勝	橘 和花	SQ-CUBE 横浜
準優勝	伊藤巨汰朗	ティップネス宮崎台	準優勝	中島 晶	ティップネス宮崎台
3 位	森 悠人	SQ-CUBE 横浜	3 位	桑原 杏奈	ティップネス宮崎台
プレート優勝	久保田奏羽	ティップネス宮崎台	プレート優勝		
クラシックプレート優勝			クラシックプレート優勝		
Under13 男子(参加者 13 名)			Under13 女子(参加者 3 名)		
優勝	池田 到真	Greetings	優勝	緑川 ひまり	Greetings
準優勝	蟻田 英心	Nexus International School	準優勝	江木 綾音	Greetings
3 位	中村 成希	ティップネス宮崎台	3 位	西内 望	Greetings
プレート優勝	伊藤 徳久次	ティップネス宮崎台	プレート優勝		
クラシックプレート優勝	小野 陽大	メガロス横浜天王町	クラシックプレート優勝		
Under11 男子(参加者 11 名)			Under11 女子(参加者 3 名)		
優勝	森 寛人	ティップネス宮崎台	優勝	シニア英美里	SQ-CUBE 横浜
準優勝	小野 凜介	メガロス横浜天王町	準優勝	小嶋 柚希	Greetings
3 位	嶋田 和磨	セントラル広島	3 位	野村 美友	Be-Win 有明
プレート優勝	大貫 晴吉	関東支部	プレート優勝		
クラシックプレート優勝	吉野 陽斗	Greetings	クラシックプレート優勝		
Under9 男子(参加者 7 名)			Under9 女子(参加者 4 名)		
優勝	安井 陽俊	TAC	優勝	吉野 莉央	Greetings
準優勝	伊藤玄祿功	ティップネス宮崎台	準優勝	安西 紗菜	Be-Win 有明
3 位	勝屋 匠都	セントラルスポーツ	3 位	西内 晴果	Greetings
プレート優勝	蟻田 開生	Nexus International School	プレート優勝		
クラシックプレート優勝			クラシックプレート優勝		

普及渉外委員会

① ワールドスカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

共催：世界スカッシュ連盟

日程：<ワールドスカッシュデー> 2021 年 10 月 9 日

<スカッシュデー> 2021 年 10 月 2 日~17 日

内容：世界連盟と共に、世界中のスカッシュプレイヤーとスカッシュの魅力を共有。

149 名の参加があり、協会 HP や SNS にて写真を掲載

② 大会等のスポンサー対策及び協賛の増進

コロナ感染症の影響続いておりますが、全日本等の協賛依頼を行う予定。

③ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクト

開催できた場合の大会会場での PR や、事務所内に JOC 環境ポスターの掲示を実施。
今年度より「環境対策部会」として新たなプロジェクトを設立した。

④ エアースカッシュを活用したスカッシュ PR 事業

<2021 年度の開催>

4/12 広島修道大学（実施済み 30 名）

5/1.2 川崎アゼリア（中止）

5/3 川崎大師（中止）

11/3 飯田市「丘のまちフェスティバル」（中止）

1/1.2.3. 帝国ホテル（中止）

2/23 川崎市等々力アリーナ「中原スポーツまつり」（中止）

その他「ワールドスカッシュデー、スカッシュウィークの補助金」

関西支部「WMG に向けてのイベント」（中止）

中部支部「2026 年名古屋アジア大会に向けてのイベント」（中止）

*6/20 時点でのエアースカッシュ参加者はトータル 5,208 名です。

⑤ 日本スポーツ協会加盟に向けて

川崎市スカッシュ協会が、2020 年 6 月に正式川崎市スポーツ協会への加盟が正式に承認され、市の大型施設内へのスカッシュコート導入に向けて活動を開始する。
また、スポーツ協会加盟のマニュアル作成を行い多くの地域でスポーツ協会の加盟を促進させたい。

全国の府県での協会支部組織を設立して頂き、日本スポーツ協会への道筋を探った。

広報委員会

① 広報機関誌「SQUASH」の発行（年 2 回予定）

<令和 3 年度年度日本スポーツ振興くじ助成事業>

Vol. 89 号（夏の号）2021 年 8 月 20 日発行予定

Vol. 90 号（冬の号）2022 年 3 月 20 日発行予定

・2022 年度より web 配信も並行し情報提供できるよう検討

② 協会ホームページの運営と情報発信

協会ホームページにおいて、スカッシュの様々な情報を発信。

SNS を使用したニュースや、メディア情報発信。

③ 選手強化活動（イベント、トレーニング）の写真、YouTube のコンテンツとして動画配信

選手強化委員会

■海外派遣及び国内合宿

<海外派遣>

-----シニア部門-----

- アジアスカッシュ選手権(個人戦) パキスタン ⇒ 派遣無し。
- アジアスカッシュ選手権(団体戦)
 - 開催国:マレーシア・クアラルンプール
 - 日程: 11月30日~12月4日20日
 - 大会結果:男女共3位・銅メダル
 - スタッフ:佐野公彦・松本淳
 - 選手(男子チーム):小林僚生・遠藤共峻・机龍之介・林尚輝
 - 選手(女子チーム):渡邊聡美・杉本梨沙・高橋楽歩・緑川あかり
- 世界男子団体戦 ⇒ 中止
- 東アジアスカッシュ選手権大会 台湾 ⇒ 開催なし。

---ジュニア部門---

- アジアジュニア個人戦 ⇒ 開催なし
- ペナンジュニアオープン ⇒ 派遣なし
- 香港ジュニアオープン ⇒ 派遣なし
- Korean Jr OP ⇒ 派遣なし
- アジアジュニア団体戦(香港) ⇒ 開催なし

——2022 アジア競技大会に向けての選考及びアスリートチェックを行った。

<国内活動>

- 2021ジュニアサマーキャンプ ⇒中止
 - 日程: 8月16日
 - 会場:Greetings Squash Saitama

- 2022年ジュニアウインターキャンプ
 - 日程: 1月10日
 - 会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
 - 担当スタッフ:佐野公彦
 - 参加:JSA 特別強化指定選手(2名)
 - JSA 強化指定選手(1名)
 - JSA 強化指定候補選手(12名)
 - 特別参加(1名)

- 2022JSA ナショナル強化合宿及び 2022 アジア競技大会 選考合宿
 - 日程:3月29日~31日
 - 会場:サンセットブリーズ保田
 - 担当スタッフ:佐野公彦、松本淳

外部講師:高岡佳子
参加者:JSA 特別強化指定選手(4名)
JSA 強化指定選手(4名)
JSA 強化指定候補選手(10名)

○ナショナルトレーニング

会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

日程:4月18日 参加4名
7月18日 参加7名
9月26日 参加11名
10月3日 参加2名

○「日本代表選手並びに役員選考規程」を作成し、理事会にて承認。

日本では後半コロナ禍が少し落ち着いて、ナショナルチームによる活動が着々と実施された。

コーチ委員会

選手強化委員会から独立した活動を進めた。
レベルTの教材と指導内容を改訂。
レベル1の教材と講習内容を見直しを開始した。
WSFのWSCの扱い検討
JSAのコーチ資格保持者の名簿を協会ホームページに掲載。

競技委員会

- ① 公認大会の認定及びランキングの作成
- ② 大会ガイドラインの作成
コロナ禍における感染対策を盛り込んだスカッシュの大会開催ガイドラインを管理、運用し必要に応じて改版した。
各公認大会の感染防止ガイドラインを確認した。
- ③ 開催を予定している全日本選手権、その他ジュニア大会、公認大会主催者と協会での情報収集や検討と協議を重ねた。
- ④ PSAポイントについて検討した。

レフリー委員会

競技委員会から独立して委員を任命し再結成の上、活動を開始した。

- ① レフリー委員のオンラインミーティングを開催。
- ② 審判講習会の実技試験のビデオについて検討中。

- ③ 委員のスキルアップを目指しオンラインによるワークショップを開催予定。
- ④ 協会主催大会においてレフリー協力を行った。

規則公認委員会

- ① スカッシュ競技の安全性や統一を図る為、世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行った。
コート公認：Be-Win 株式会社 Be-Win 有明 2コート
株式会社 HORIZONT StandOut KYOTO 2コート
- ② スカッシュの規則公認に係る様々な問い合わせや質問にお答えした。
- ③ 「暴力・ハラスメント等相談窓口」案内を協会HPに掲載中。
- ④ 地区支部委員会と共に「加盟団体規程」を作成、理事会にて詳細再検討を条件に承認。

総務委員会

- ① **会員募集事業と管理**
*個人会員及び団体会費の募集、特にプレミアムパートナー会員の登録協力を依頼した。
個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロードの「スポーツエントリー」を利用し、会員情報を支部、大会へ提供。
※2022年度の会員募集は、2月1日より開始した。
- ② **団体会員等の登録費請求と納入確認。**
- ③ **JOC, JADA, 等各加盟団体との連携。**
・スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査に向けた整備。
- ④ **会議の実施、専門委員会の増設と会議体の改編について検討した。**
・現在の5専門委員会を10委員会に変更。
・運営委員会の廃止にともない各委員会を中心とした運営とその情報共有を可能とする TEAMS の構造を設定。
・委員会編成に伴う定款、運営規則の変更。
- ⑤ **財務担当活動**
・公認会計士及び協会監事による会計監査を行い、2020年度財務諸表を理事会及び総会に図り承認。
・2021年度の経理入力および管理。
・2022年度の予算案の策定及び理事会での承認。
・各種助成金に関する調査、申請と報告業務。
- ⑥ **公益社団法人への定期報告**
・2020年度定期事業報告提出 ⇒ 6月
・2022年度定期事業計画提出 ⇒ 3月
・各種変更届⇒定款及び役員変更
- ⑦ **国際担当活動**
・世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、PSA(プロ協会)と情報連携。
・世界スカッシュ連盟及びアジアスカッシュ連盟の総会出席及び報告。通達や、ルールの変更、大会スケジュール情報を収集し選手強化委員会に連携発信。

- ・アジア競技大会に向けての国内外に向けたロビー活動。
2026年愛知・名古屋開催のアジア競技大会への競技入りに向けての情報収集に努め、同時に開催地での会議に出席の中部支部との連携。

⑧ アスリート部会活動

- ・全日本選手権時期の移行に関して意見収集及び検討。
- ・10月9日(土)ワールドスカッシュデーでのイベント企画協力。
- ・地域貢献活動など
- ・国内で開催される(日本人選手のみ)のPSA大会のポイントのJSAランキングへの付与について。

地区支部委員会

- ① コロナ禍における大会開催に関する課題・解決策の共有
- ② 各地区支部の活動状況の共有
- ③ 地区支部の意見集約と常務理事会への提言・提案を行った。
 - ・常務理事会にて協議される事案に対する、地区支部の意見集約
 - ・地区支部意見を集約し、常務理事会への提言・提案の具申
- ④ 地区支部における会員数拡大のための施策検討
- ⑤ 規則公認委員会と共に「加盟団体規程」を作成、理事会にて詳細再検討を条件に承認。

学連

- ・ 2022 FISU WORLD UNIVERSITY CHAMPIONSHIP SQUASH in GIZA, EGYPT に関する情報共有と参加承認申請手続き

◆ワールドマスターズゲームズ関西 ⇒延期

- ・ 2022年5月に京都にて開催予定だったワールドマスターズゲームズ関西は、コロナ禍の影響により延期となった。
- ・ 2026年開催を予定して検討中。

◆ 創立 50 周年記念事業

- (公社) 日本スカッシュ協会創立 50 周年記念事業の企画検討。
- ・ 全日本スカッシュ選手権大会の映像配信やPR活動に力を入れた。
 - ・ 協会主催大会と支部主催選手権にはサブタイトル付与依頼。
「公益社団法人日本スカッシュ協会創立 50 周年記念事業」
 - ・ 記念誌作成の時期を検討
 - ・ コロナの影響により第 50 回全日本スカッシュ選手権大会に於ける 4 面ガラスコートでの開催が実現出来なかったため、第 51 回全日本スカッシュ選手権大会にて実施予定。

2021 年度会員数 & 公認数

<個人会員>

()は前年

会員種別	人数
正会員	39 名(36 名)
プロ選手会員	33 名(38 名)
プレミアムパートナー 会員(個人)	12 名 (7 名)
個人選手会員	303 名(426 名)
ジュニア会員	137 名(86 名)
一般会員	70 名(36 名)
レフリー・コーチ会員	34 名(23 名)
個人後援会員	2 名(3 名)
学連会員	337 名(278 名)

<団体会員>

()は前年

会員種別	団体数
プレミアムパート ナー会員(団体)	13 件 19 口 (5 件 13 口)
団体会員	97(107)
準団体会員	16(24)
クラブチーム会員	16(26)

個人会員 総合計 967 名 (933 名/2020 年)(1,864 名/2019 年)

<個人会員と一般会員の支部別内訳>()は前年

支部名	個人選手会員	一般会員
北海道	10(19)	0(0)
東北	14(12)	14(1)
関東	179(240)	24(24)
中部	16(24)	0(1)
関西	41(63)	9(4)
中国四国	23(38)	15(6)
九州	20(30)	8(0)

<2020 年度公認件数>

コート公認数	2 件(0 件)
大会公認数(協会主催大会を除く)	33 大会(0 大会)
ボール公認数	1 件(1 件)
コーチ公認更新数	29 件(21 件)
レフリー公認更新数	11 件(20 件)

(2022.3.31.)

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	23,365,988	28,379,187	△ 5,013,199
棚卸資産	32,140	34,590	△ 2,450
未収金	9,339,150	1,471,000	7,868,150
流動資産合計	32,737,278	29,884,777	2,852,501
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	15,432,092	15,432,092	0
基本財産合計	15,432,092	15,432,092	0
(2) 特定資産			
公益事業基金（大会開催）引当預金	7,200,000	7,200,000	0
トレセン建設引当預金	5,500,000	5,300,000	200,000
スポーツラボ引当預金	4,000,000	4,000,000	0
感染防止対策等引当預金	2,855,207	3,000,000	△ 144,793
退職給付引当預金	600,000	600,000	0
特定資産合計	20,155,207	20,100,000	55,207
(3) その他固定資産			
什器備品	3,000,000	4,000,000	△ 1,000,000
保証金	378,000	378,000	0
その他固定資産合計	3,378,000	4,378,000	△ 1,000,000
固定資産合計	38,965,299	39,910,092	△ 944,793
資産合計	71,702,577	69,794,869	1,907,708
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,114,423	1,339,306	△ 224,883
前受金	3,687,500	1,966,000	1,721,500
預り金	45,000	35,000	10,000
流動負債合計	4,846,923	3,340,306	1,506,617
2. 固定負債			
退職給付引当金	600,000	600,000	0
固定負債合計	600,000	600,000	0
負債合計	5,446,923	3,940,306	1,506,617
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(15,432,092)	(15,432,092)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(19,555,207)	(19,500,000)	(55,207)
正味財産合計	66,255,654	65,854,863	401,091
負債及び正味財産合計	71,702,577	69,794,869	1,907,708

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[492]	[2,472]	[△ 1,980]
基本財産受取利息	492	2,472	△ 1,980
受取会費	[13,260,950]	[13,120,100]	[140,850]
正会員受取会費	507,000	468,000	39,000
賛助会員個人受取会費	6,822,950	6,958,300	△ 135,350
賛助会員団体受取会費	4,274,000	4,688,800	△ 414,800
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	1,047,000	395,000	652,000
事業収益	[6,587,625]	[350,164]	[6,237,461]
協賛金収入	3,482,000	349,000	3,133,000
参加料収入	3,088,161	0	3,088,161
その他収入	0	1,164	△ 1,164
雑収入	17,464	0	17,464
受取補助金等	[12,512,000]	[6,232,000]	[6,280,000]
民間補助金収入	7,144,000	5,044,000	2,100,000
国庫等助成金	5,368,000	1,188,000	4,180,000
受取寄付金	[0]	[771,280]	[△ 771,280]
募金収益	0	771,280	△ 771,280
雑収益	[9,364]	[2,100,342]	[△ 2,090,978]
受取利息	363	342	21
その他	9,001	2,100,000	△ 2,090,999
経常収益計	32,370,431	22,576,358	9,794,073
(2) 経常費用			
事業費	[18,650,165]	[6,539,128]	[12,111,037]
コートフィー	1,401,400	192,500	1,208,900
パンフレット	41,710	0	41,710
参加賞	327,771	0	327,771
トロフィー・メダル	159,222	0	159,222
保険代	46,260	64,240	△ 17,980
交通費	43,746	620	43,126
宿泊費	82,803	0	82,803
郵送費	302,370	90,770	211,600
雑費	2,218,655	2,128,607	90,048
諸謝金	1,014,416	97,000	917,416
旅費	660,353	0	660,353
渡航費	1,336,074	0	1,336,074
滞在費	674,564	0	674,564
借料及び損料	991,605	132,000	859,605
消耗品費	562,566	10,335	552,231
スポーツ用品費	309,471	0	309,471

科 目	当年度	前年度	増 減
備品費	0	43,560	△ 43,560
印刷製本費	2,246,491	1,485,650	760,841
通信運搬費	54,378	2,970	51,408
雑役務費	4,132,510	608,575	3,523,935
保険料	75,600	0	75,600
その他	421,037	0	421,037
減価償却費	1,000,000	1,000,000	0
給付金支出	403,800	600,600	△ 196,800
雑支出	143,363	81,701	61,662
管理費	[13,319,175]	[10,572,379]	[2,746,796]
給与	8,306,349	5,588,893	2,717,456
旅費交通費	246,504	268,186	△ 21,682
通信・運搬費	181,232	273,436	△ 92,204
消耗什器備品費	549,495	948,473	△ 398,978
印刷製本費	28,797	7,096	21,701
光熱水料費	77,287	57,789	19,498
賃借料	2,059,200	1,158,300	900,900
社会保険料	908,441	987,190	△ 78,749
負担金支出	440,561	654,499	△ 213,938
公認会計士他費用	165,000	150,000	15,000
公益法人関連費用	260,304	284,290	△ 23,986
登記費用	49,290	118,100	△ 68,810
雑費	46,715	76,127	△ 29,412
経常費用計	31,969,340	17,111,507	14,857,833
評価損益等調整前当期経常増減額	401,091	5,464,851	△ 5,063,760
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	401,091	5,464,851	△ 5,063,760
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	401,091	5,464,851	△ 5,063,760
一般正味財産期首残高	65,854,563	60,389,712	5,464,851
一般正味財産期末残高	66,255,654	65,854,563	401,091
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	66,255,654	65,854,563	401,091

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			合計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[0]	[0]	[492]	[492]
基本財産受取利息	0	0	492	492
受取会費	[6,630,475]	[0]	[6,630,475]	[13,260,950]
正会員受取会費	253,500	0	253,500	507,000
賛助会員個人受取会費	3,411,475	0	3,411,475	6,822,950
賛助会員団体受取会費	2,137,000	0	2,137,000	4,274,000
加盟金	305,000	0	305,000	610,000
公認料	523,500	0	523,500	1,047,000
事業収益	[6,587,625]	[0]	[0]	[6,587,625]
協賛金収入	3,482,000	0	0	3,482,000
参加料収入	3,088,161	0	0	3,088,161
雑収入	17,464	0	0	17,464
受取補助金等	[12,512,000]	[0]	[0]	[12,512,000]
民間補助金収入	7,144,000	0	0	7,144,000
国庫等助成金	5,368,000	0	0	5,368,000
雑収益	[0]	[0]	[9,364]	[9,364]
受取利息	0	0	363	363
その他	0	0	9,001	9,001
経常収益計	25,730,100	0	6,640,331	32,370,431
(2) 経常費用				
事業費	[18,650,165]	[0]	[0]	[18,650,165]
コートフィー	1,401,400	0	0	1,401,400
パンフレット	41,710	0	0	41,710
参加賞	327,771	0	0	327,771
トロフィー・メダル	159,222	0	0	159,222
保険代	46,260	0	0	46,260
交通費	43,746	0	0	43,746
宿泊費	82,803	0	0	82,803
郵送費	302,370	0	0	302,370
雑費	2,218,655	0	0	2,218,655
諸謝金	1,014,416	0	0	1,014,416
旅費	660,353	0	0	660,353
渡航費	1,336,074	0	0	1,336,074
滞在費	674,564	0	0	674,564
借料及び損料	991,605	0	0	991,605
消耗品費	562,566	0	0	562,566
スポーツ用品費	309,471	0	0	309,471
印刷製本費	2,246,491	0	0	2,246,491
通信運搬費	54,378	0	0	54,378
雑役務費	4,132,510	0	0	4,132,510
保険料	75,600	0	0	75,600
その他	421,037	0	0	421,037
減価償却費	1,000,000	0	0	1,000,000
給付金支出	403,800	0	0	403,800
雑支出	143,363	0	0	143,363
管理費	[9,885,848]	[0]	[3,433,327]	[13,319,175]
給与	6,645,080	0	1,661,269	8,306,349
旅費交通費	197,204	0	49,300	246,504
通信・運搬費	144,986	0	36,246	181,232
消耗什器備品費	439,597	0	109,898	549,495
印刷製本費	23,038	0	5,759	28,797
光熱水料費	61,830	0	15,457	77,287
賃借料	1,647,360	0	411,840	2,059,200

科 目	公益目的事業会計			合計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
社会保険料	726,753	0	181,688	908,441
負担金支出	0	0	440,561	440,561
公認会計士他費用	0	0	165,000	165,000
公益法人関連費用	0	0	260,304	260,304
登記費用	0	0	49,290	49,290
雑費	0	0	46,715	46,715
経常費用計	28,536,013	0	3,433,327	31,969,340
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,805,913	0	3,207,004	401,091
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,805,913	0	3,207,004	401,091
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,805,913	0	3,207,004	401,091
当期一般正味財産増減額	△ 2,805,913	0	3,207,004	401,091
一般正味財産期首残高	△ 18,406,912	0	84,261,475	65,854,563
一般正味財産期末残高	△ 21,212,825	0	87,468,479	66,255,654
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 21,212,825	0	87,468,479	66,255,654

財産目録

令和 4年 3月31日現在

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	93,571	
	預金	普通預金	普通預金合計	21,816,660	
		三菱UFJ銀行 神田支店	運転資金として	4,341,183	
		三菱UFJ銀行 神田駅前支店	運転資金として	1,844	
		三井住友銀行 神田支店	運転資金として	299,299	
		みずほ銀行 神田支店	運転資金として	6,934,629	
		りそな銀行 神田支店	運転資金として	2,265,498	
		SMBC信託銀行 大手町支店	運転資金として	3,531,144	
		SMBC信託銀行 大手町支店	運転資金として (外貨)	469,352	
		城南信用金庫 青山支店	運転資金として	1,772,934	
		ゆうちょ銀行 神田局	運転資金として	2,200,777	
		定期預金	定期預金合計	1,455,757	
		三井住友銀行 神田支店	運転資金として	1,317,471	
		りそな銀行 神田支店	運転資金として	104,383	
		SMBC信託銀行 大手町支店	運転資金として	22,652	
		三菱UFJ銀行 神田支店	運転資金として	11,251	
		棚卸資産	手元保管	公益目的事業分 (本・ビデオ) 及び 法人会計分 (切手) として	32,140
		未収金			9,339,150
		その他	JOC補助金・会費等	公益目的事業分として	9,339,150
	流動資産合計				32,737,278
(固定資産)	基本財産	定期預金	定期預金合計	15,432,092	
		三菱UFJ銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	5,102,860	
		りそな銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	8,309,208	
		SMBC信託銀行	公益目的事業の不可欠特定財産として	2,020,024	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
特定資産	公益事業基金（大会開催）引当預金	大手町支店	運用益を管理費の財源に充当		
			公益事業基金（大会開催）引当預金合計	7,200,000	
		三菱UFJ銀行 神田駅前支店	特定費用準備資金として	2,100,000	
		三井住友銀行 神田支店	特定費用準備資金として	3,400,000	
		ゆうちょ銀行 神田局	特定費用準備資金として	1,700,000	
		トレセン建設 引当預金	トレセン建設引当預金合計	5,500,000	
			三菱UFJ銀行 神田支店	公益目的事業分として	400,000
			三菱UFJ銀行 神田駅前支店	公益目的事業分として	1,500,000
			三井住友銀行 神田支店	公益目的事業分として	3,600,000
		スポーツラボ 引当預金	スポーツラボ引当預金合計	4,000,000	
	感染防止対策 引当預金		三菱UFJ銀行 神田支店	公益目的事業分として	3,200,000
			三井住友銀行 神田支店	公益目的事業分として	800,000
				感染防止対策引当預金合計	2,855,207
		退職給付引当預金		退職給付引当預金合計	600,000
その他固定資産		三菱UFJ銀行 神田支店	法人会計・管理費分として	600,000	
	什器備品 保証金	4面ガラスコート	公益目的事業分として	3,000,000	
		事務所保証金	公益目的保有財産として(20%) 公益目的事業の不可欠特定財産として(80%)	378,000	
固定資産合計				38,965,299	
資産合計				71,702,577	
(流動負債)	未払金		未払金合計	1,114,423	
		3月分給料	法人会計・管理費分として	665,802	
		大会経費	公益目的事業分として	106,545	
		その他	法人会計・管理費分として	342,076	
	前受金		前受金合計	3,687,500	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	次年度会費	公益目的事業分として	3,493,500
		その他	公益目的事業分として	194,000
				45,000
		賞金	公益目的事業分として	45,000
流動負債合計				4,846,923
(固定負債)	退職給付引当金		法人会計・管理費分として	600,000
固定負債合計				600,000
負債合計				5,446,923
正味財産				66,255,654

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 ----- 移動平均法による原価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 ----- 先入先出法による原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法 ----- 定額法
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金 ----- 職員退職金の支払に備えて職員退職給与規定に基づく
期末における自己都合要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理 ----- 税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	15,432,092	0	0	15,432,092
小計	15,432,092	0	0	15,432,092
特定資産				
大会開催引当預金	7,200,000	0	0	7,200,000
トレセン建設引当預金	5,300,000	200,000	0	5,500,000
スポーツラボ引当預金	4,000,000	0	0	4,000,000
感染防止対策等引当預金	3,000,000	0	144,793	2,855,207
退職給付引当預金	600,000	0	0	600,000
小計	20,100,000	200,000	144,793	20,155,207
合 計	35,532,092	200,000	144,793	35,587,299

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	15,432,092	(0)	(15,432,092)	(0)
小計	15,432,092	(0)	(15,432,092)	(0)
特定資産				
大会開催引当預金	7,200,000	(0)	(7,200,000)	(0)
トレセン建設引当預金	5,500,000	(0)	(5,500,000)	(0)
スポーツラボ引当預金	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
感染防止対策等引当預金	2,855,207	(0)	(2,855,207)	(0)
退職給付引当預金	600,000	(0)	(0)	(600,000)
小計	20,155,207	(0)	(19,555,207)	(600,000)
合 計	35,587,299	(0)	(34,987,289)	(600,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	7,065,023	4,065,023	3,000,000

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
該当なし		0	0	0	0	—
小計		0	0	0	0	
補助金						
選手強化交付金	日本オリンピック委員会	0	3,564,000	3,564,000	0	—
選手強化NF事業補助金	日本オリンピック委員会	0	2,580,000	2,580,000	0	—
ジュニア育成助成金	ミズノスポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	—
小計		0	7,144,000	7,144,000	0	
助成金						
スポーツ振興基金助成金	日本スポーツ振興センター	0	4,248,000	4,248,000	0	—
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	1,120,000	1,120,000	0	—
小計		0	5,368,000	5,368,000	0	
合計		0	12,512,000	12,512,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高」に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	600,000	-	-	-	600,000

独立監査人の監査報告書

令和 4 年 5 月 16 日

公益社団法人 日本スカッシュ協会
理事会 御中

十川公認会計士事務所

公認会計士

十川 稔 

<財務諸表監査>

監査意見

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの令和 3 年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドライン I - 5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これは、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

公益社団法人日本スカッシュ協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

2022年5月16日

公益社団法人日本スカッシュ協会
会長 北澤 猛 殿

公益社団法人 日本スカッシュ協会

監事 友清 敏幸 
監事 山岸 和彦 

私たち監事は、公益社団法人日本スカッシュ協会の2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その結果を次のとおり報告いたします。

1. 監査方法及びその内容

- (1) 理事の職務並びに事業報告及びその附属明細書の監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧その他必要と思われる監査手続きを実施して、理事の職務の遂行並びに事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討しました。
- (2) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録の監査については、独立監査人から監査実施状況及び結果について報告を受け、財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書に関する監査結果
事業報告及び附属明細書は、法令又は定款に従い当法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関する監査結果
当法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実が認められるかどうかは意見を留保します。
- (3) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査結果
財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。また、独立監査人の監査方法及び結果は、相当であると認めます。

以上

収支計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[3,000]	[492]	[2,508]
基本財産利息収入	3,000	492	2,508
会費収入	[9,149,000]	[13,260,950]	[△ 4,111,950]
正会員会費収入	468,000	507,000	△ 39,000
賛助会員個人会費	5,232,000	6,822,950	△ 1,590,950
賛助会員団体会費	2,589,000	4,274,000	△ 1,685,000
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	250,000	1,047,000	△ 797,000
事業収入	[14,332,454]	[6,587,625]	[7,744,829]
補助金・委託金等収入	3,000,000	0	3,000,000
協賛金収入	2,281,400	3,482,000	△ 1,200,600
入場料収入	225,000	0	225,000
参加料収入	6,886,900	3,088,161	3,798,739
その他収入	1,416,446	0	1,416,446
雑収入	522,708	17,464	505,244
補助金等収入	[12,161,000]	[12,512,000]	[△ 351,000]
民間補助金収入	3,700,000	7,144,000	△ 3,444,000
国庫等助成金	8,461,000	5,368,000	3,093,000
寄付金収入	[500,000]	[0]	[500,000]
募金収入	500,000	0	500,000
雑収入	[1,000]	[9,364]	[△ 8,364]
受取利息	1,000	363	637
その他	0	9,001	△ 9,001
事業活動収入計	36,146,454	32,370,431	3,776,023
2. 事業活動支出			
事業費	[27,559,550]	[17,647,514]	[9,912,036]
コートフィー	2,726,400	1,401,400	1,325,000
パンフレット	534,320	41,710	492,610
参加賞	649,000	327,771	321,229
トロフィー・メダル	967,470	159,222	808,248
保険代	78,100	46,260	31,840
交通費	13,000	43,746	△ 30,746
宿泊費	859,000	82,803	776,197
郵送費	129,500	299,719	△ 170,219
雑費	1,320,000	2,218,655	△ 898,655
諸謝金	2,115,000	1,014,416	1,100,584
旅費	379,525	660,353	△ 280,828
渡航費	2,895,300	1,336,074	1,559,226
滞在費	400,000	674,564	△ 274,564
借料及び損料	657,800	991,605	△ 333,805
消耗品費	95,178	562,566	△ 467,388

科 目	予算額	決算額	差 異
スポーツ用品費	211,420	309,471	△ 98,051
印刷製本費	3,266,113	2,246,491	1,019,622
通信運搬費	958,059	54,378	903,681
雑役務費	6,390,243	4,132,510	2,257,733
保険料	0	75,600	△ 75,600
その他	0	421,037	△ 421,037
対象外経費	2,114,122	0	2,114,122
給付金支出	500,000	403,800	96,200
雑支出	300,000	143,363	156,637
管理費	[14,486,904]	[13,319,376]	[1,167,528]
給与	8,088,860	8,306,349	△ 217,489
旅費交通費	763,044	246,504	516,540
通信・運搬費	200,000	181,433	18,567
会議費	25,000	0	25,000
消耗什器備品費	500,000	549,495	△ 49,495
印刷製本費	10,000	28,797	△ 18,797
光熱水料費	100,000	77,287	22,713
賃借料	2,000,000	2,059,200	△ 59,200
社会保険料	1,300,000	908,441	391,559
負担金支出	700,000	440,561	259,439
公認会計士他費用	150,000	165,000	△ 15,000
公益法人関連費用	250,000	260,304	△ 10,304
登記費用	100,000	49,290	50,710
雑費	300,000	46,715	253,285
その他の支出	[1,000,000]	[0]	[1,000,000]
その他の支出	1,000,000	0	1,000,000
事業活動支出計	43,046,454	30,966,890	12,079,564
事業活動収支差額	△ 6,900,000	1,403,541	△ 8,303,541
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定預金取崩収入	[7,200,000]	[144,793]	[7,055,207]
公益事業基金(大会開催)引当預金取崩収入	7,200,000	0	7,200,000
感染防止対策引当預金取崩収入	0	144,793	△ 144,793
投資活動収入計	7,200,000	144,793	7,055,207
2. 投資活動支出			
特定預金支出	[300,000]	[200,000]	[100,000]
退職給付引当預金支出	100,000	0	100,000
トレセン建設引当預金支出	200,000	200,000	0
投資活動支出計	300,000	200,000	100,000
投資活動収支差額	6,900,000	△ 55,207	6,955,207
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0

科 目	予算額	決算額	差 異
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0		0
当期収支差額	0	1,348,334	△ 1,348,334
前期繰越収支差額	0	26,509,881	△ 26,509,881
次期繰越収支差額	0	27,858,215	△ 27,858,215

収支計算書内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			合計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[0]	[0]	[492]	[492]
基本財産利息収入	0	0	492	492
会費収入	[6,630,475]	[0]	[6,630,475]	[13,260,950]
正会員会費収入	253,500	0	253,500	507,000
賛助会員個人会費	3,411,475	0	3,411,475	6,822,950
賛助会員団体会費	2,137,000	0	2,137,000	4,274,000
加盟金	305,000	0	305,000	610,000
公認料	523,500	0	523,500	1,047,000
事業収入	[6,587,625]	[0]	[0]	[6,587,625]
協賛金収入	3,482,000	0	0	3,482,000
参加料収入	3,088,161	0	0	3,088,161
雑収入	17,464	0	0	17,464
補助金等収入	[12,512,000]	[0]	[0]	[12,512,000]
民間補助金収入	7,144,000	0	0	7,144,000
国庫等助成金	5,368,000	0	0	5,368,000
雑収入	[0]	[0]	[9,364]	[9,364]
受取利息	0	0	363	363
その他	0	0	9,001	9,001
事業活動収入計	25,730,100	0	6,640,331	32,370,431
2. 事業活動支出				
事業費	[17,647,514]	[0]	[0]	[17,647,514]
コートフィー	1,401,400	0	0	1,401,400
パンフレット	41,710	0	0	41,710
参加賞	327,771	0	0	327,771
トロフィー・メダル	159,222	0	0	159,222
保険代	46,260	0	0	46,260
交通費	43,746	0	0	43,746
宿泊費	82,803	0	0	82,803
郵送費	299,719	0	0	299,719
雑費	2,218,655	0	0	2,218,655
諸謝金	1,014,416	0	0	1,014,416
旅費	660,353	0	0	660,353
渡航費	1,336,074	0	0	1,336,074
滞在費	674,564	0	0	674,564
借料及び損料	991,605	0	0	991,605
消耗品費	562,566	0	0	562,566
スポーツ用品費	309,471	0	0	309,471
印刷製本費	2,246,491	0	0	2,246,491
通信運搬費	54,378	0	0	54,378
雑役務費	4,132,510	0	0	4,132,510
保険料	75,600	0	0	75,600
その他	421,037	0	0	421,037
給付金支出	403,800	0	0	403,800
雑支出	143,363	0	0	143,363
管理費	[9,885,849]	[0]	[3,433,527]	[13,319,376]
給与	6,645,080	0	1,661,269	8,306,349
旅費交通費	197,204	0	49,300	246,504
通信・運搬費	144,987	0	36,446	181,433
消耗什器備品費	439,597	0	109,898	549,495
印刷製本費	23,038	0	5,759	28,797
光熱水料費	61,830	0	15,457	77,287
賃借料	1,647,360	0	411,840	2,059,200
社会保険料	726,753	0	181,688	908,441
負担金支出	0	0	440,561	440,561

科 目	公益目的事業会計			合計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
公認会計士他費用	0	0	165,000	165,000
公益法人関連費用	0	0	260,304	260,304
登記費用	0	0	49,290	49,290
雑費	0	0	46,715	46,715
事業活動支出計	27,533,363	0	3,433,527	30,966,890
事業活動収支差額	△ 1,803,263	0	3,206,804	1,403,541
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定預金取崩収入	[144,793]	[0]	[0]	[144,793]
感染防止対策引当預金取崩収入	144,793	0	0	144,793
投資活動収入計	144,793	0	0	144,793
2. 投資活動支出				
特定預金支出	[200,000]	[0]	[0]	[200,000]
トレセン建設引当預金支出	200,000	0	0	200,000
投資活動支出計	200,000	0	0	200,000
投資活動収支差額	△ 55,207	0	0	△ 55,207
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	△ 1,858,470	0	3,206,804	1,348,334
前期繰越収支差額	△ 27,984,297	0	54,494,178	26,509,881
次期繰越収支差額	△ 29,842,767	0	57,700,982	27,858,215

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲 ----- 現金預金、未収金、未払金、前払金、前受金、仮払金、仮受金、預り金
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	28,379,187	23,366,090
未収金	1,471,000	9,289,150
合 計(1)	29,850,187	32,655,240
未払金	1,339,306	1,110,726
前受金	1,966,000	3,687,500
預り金	35,000	45,000
合 計(2)	3,340,306	4,843,226
次期繰越収支差額(1)－(2)	26,509,881	27,812,014

公益社団法人日本スカッシュ協会定款の一部変更
定款変更の新旧対照表

新 (変更後)	旧 (変更前)
<p>第4章 加盟団体 <u>(加盟団体)</u></p> <p>第11条 この法人の目的に賛同し、この法人と連携協働する地区支部団体その他のスカッシュ競技関係団体を加盟団体として理事会にて承認する。</p> <p>2 加盟団体について必要な事項は、理事会の決議を経て別に定める。</p> <p>第5章</p> <p>第12条</p> <p>第13条</p> <p>第14条</p> <p>第15条</p> <p>第16条</p> <p>第17条</p> <p>第18条</p> <p>第19条</p> <p>第6章</p> <p>第20条</p> <p>第21条</p> <p>第22条</p> <p>第23条</p> <p>第24条</p> <p>第25条</p> <p>第26条</p> <p>第27条</p> <p>第28条</p> <p>第29条</p> <p>第30条</p> <p>第7章</p> <p>第31条</p> <p>第32条</p> <p>第33条</p> <p>第34条</p> <p>第35条</p> <p>第8章</p> <p>第36条</p> <p>第37条</p>	<p>(追加)</p> <p>第4章</p> <p>第11条</p> <p>第12条</p> <p>第13条</p> <p>第14条</p> <p>第15条</p> <p>第16条</p> <p>第17条</p> <p>第18条</p> <p>第5章</p> <p>第19条</p> <p>第20条</p> <p>第21条</p> <p>第22条</p> <p>第23条</p> <p>第24条</p> <p>第25条</p> <p>第26条</p> <p>第27条</p> <p>第28条</p> <p>第29条</p> <p>第6章</p> <p>第30条</p> <p>第31条</p> <p>第32条</p> <p>第33条</p> <p>第34条</p> <p>第7章</p> <p>第35条</p> <p>第36条</p>

第 <u>38</u> 条	第37条
第 <u>39</u> 条	第38条
第 <u>40</u> 条	第39条
第 <u>41</u> 条	第40条
第 <u>42</u> 条	第41条
第 <u>9</u> 章	第8章
第 <u>43</u> 条	第42条
第 <u>44</u> 条	第43条
第 <u>45</u> 条	第44条
第 <u>46</u> 条	第45条
第 <u>10</u> 章	第9章
第 <u>47</u> 条	第46条
第 <u>11</u> 章	第10章
第 <u>48</u> 条	第47条
附則	附則
4 第 <u>21</u> 条	4 第20条
変更履歴	(追加)
令和4年6月19日 第4章第11条追加	

2022年度事業計画

公益法人日本スカッシュ協会は、新型コロナウイルス感染拡大による困難な状況の中ではありますが、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開します。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

■公益社団法人日本スカッシュ協会主催大会（予定）

※2022 度の大会開催に関しましては、新型コロナ感染状況により、選手やスタッフの安全を考慮して開催の可否を決定致します。

- 第 33 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会
日程:6 月 25 日・26 日
会場:Greetings Squash Saitama

- JSA チャレンジカップサマー
日程:7 月 30 日～8 月 1 日
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

- 第 28 回スカッシュマスターズカーニバル
日程:10 月 8 日・9 日
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

- 文部科学大臣杯争奪第 51 回全日本スカッシュ選手権大会(冠は予定)
<令和 4 年度スポーツ振興基金助成申請>
日程:令和4年 11 月 25 日～28 日(予定)
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE &トレッサ横浜
<4面ガラスコート設置開催予定>

- JOC ジュニアオリンピックカップ第 27 回全日本ジュニアスカッシュ
選手権大会(冠は予定)
日程:令和 4 年 3 月下旬

普及渉外委員会

- ① ワールドスカッシュデー・スカッシュウィークの実施
主催:(公社)日本スカッシュ協会
共催:世界スカッシュ連盟
日程:<ワールドスカッシュデー>2022 年 10 月 8 日(予定)

<スカッシュデー>2022年10月1日~16日
内容：世界連盟と共に、世界中のスカッシュプレイヤーとスカッシュの魅力を共有。

- ② 大会等のスポンサー対策及び協賛の増進
コロナ感染症の影響続いておりますが、全日本等の協賛依頼を行う。
- ③ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクト
大会会場での PR や、事務所に JOC 環境ポスターの掲示を実施。
作年度より「環境対策部会」として新たなプロジェクトを設立。
- ④ エアースカッシュを活用したスカッシュ PR 事業
2022 年度の開催予定は未だ決まっておりますが、全国各地にて積極的に開催していきたい。

日本スポーツ協会加盟に向けて

川崎市スカッシュ協会が、2020年6月に正式川崎市スポーツ協会への加盟が正式に承認され、市の大型施設内へのスカッシュコートの導入に向けて活動を開始した。また、スポーツ協会加盟のマニュアル作成を行い多くの地域でスポーツ協会の加盟を促進させたい。

広報委員会

- ① 広報機関誌「SQUASH」の発行（年2回予定）
<2022年度日本スポーツ振興くじ助成事業>
Vol. 91号（夏の号）2022年8月20日発行予定
Vol. 92号（冬の号）2023年3月20日発行予定
※協会創立50周年記念号も兼ねる
・2022年度より web 配信も並行し情報提供できるよう検討
- ② 協会ホームページの運営と情報発信
協会ホームページにおいて、スカッシュの様々な情報を発信。
SNSを使用したニュースや、メディア情報発信。
- ③ 選手強化活動（イベント、トレーニング）の写真、YouTube のコンテンツとして動画配信

選手強化委員会

■海外派遣及び国内合宿(予定)

<海外派遣>

-----シニア部門-----

- 第21回アジアスカッシュ選手権(団体戦) 韓国(清洲) ⇒10月31日~11月4日
- 東アジアスカッシュ選手権大会 中国又は台湾 ⇒ 未定

○アジア競技大会 中国(杭州) ⇒ 9月10日～25日<延期>

---ジュニア部門----

○アジアジュニア団体戦 香港 ⇒ 延期

○アジアジュニア個人戦 タイ・パタヤ ⇒ 6月15日～19日

○香港ジュニアオープン 香港 ⇒ 8月予定

○世界ジュニア個人戦 フランス ⇒ 8月11日～16日

○パナンジュニア マレーシア ⇒ 7月予定

<国内活動>

○サマーキャンプ 8月 ⇒ (1Day 開催)

○ウインターキャンプ 12月 ⇒ (1Day 開催)

○ジュニアナショナル強化合宿 1月 ⇒ 保田

○ナショナル強化合宿 3月 ⇒ 保田

○ナショナルトレーニング 通年 ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

※スカウト活動

コーチ委員会

選手強化委員会から独立した活動を進める。

レベルTの教材と指導内容を改訂。

レベル1の教材と講習内容を見直し。

WSFのWSCの扱い検討

競技委員会

① 公認大会の認定及びランキングの作成

② 大会ガイドラインの作成

コロナ禍における感染対策を盛り込んだスカッシュの大会開催ガイドラインを管理、運用し必要に応じて改版する。

各公認大会の感染防止ガイドラインを確認する。

③ 開催を予定している全日本選手権、その他ジュニア大会、公認大会主催者と協会での情報収集や検討と協議を重ねる。

レフリー委員会

前年より競技委員会から独立して委員を任命し再結成の上、活動を開始している。

① レフリー委員のオンラインミーティングを開催。

② 審判講習会の実技試験のビデオについて検討中。

③ 委員のスキルアップを目指しオンラインによるワークショップを開催。

規則公認委員会

- ① スカッシュ競技の安全性や統一を図る為、世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行う。
- ② スカッシュの規則公認に係る様々な問い合わせや質問にお答えする。
- ③ 「暴力・ハラスメント等相談窓口」案内を協会HPに掲載中。

総務委員会

① 会員募集事業と管理

*個人会員及び団体会費の募集、特にプレミアムパートナー会員の登録協力を依頼する。
個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロードの「スポーツエントリー」を利用し、会員情報を支部、大会へ提供。

※2022年度の会員募集は、2月10日開始。ランキング保持希望者は3月31日までに登録が必要。

② 団体会員の登録費請求と納入確認。

③ JOC, JADA, 等各加盟団体との連携。

・スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査に向けた整備

④ 会議の実施、専門委員会の増設と会議体の改編について充実を図る

・昨年、専門委員会を5から10委員会に増設。

・委員会編成に伴う各委員会を中心とした運営とその情報共有を可能とするTEAMSの構造を設定して活動を充実させる。

⑤ 各種規約の検討、実施

・（公社）日本スカッシュ協会団体加盟規程の検討、実施。

⑥ 財務担当活動

・公認会計士及び協会監事による会計監査を行い、2021年度財務諸表を理事会及び総会に図り承認。

・2022年度の人事労務・経理入力および管理。

・2023年度の予算案の策定及び理事会での承認

・各種助成金に関する調査、申請と報告業務。

⑦ 公益社団法人定期報告

・2021年度定期事業報告提出 ⇒ 6月

・2022年度定期事業計画提出 ⇒ 3月

・各種変更届

⑧ 国際担当活動

・世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、PSA（プロ協会）と情報連携。

・世界スカッシュ連盟及びアジアスカッシュ連盟の総会出席及び報告。通達や、ルールの変更、大会スケジュール情報を収集し選手強化委員会に連携発信。

・アジア競技大会に向けての国内外に向けたロビー活動。

2026年愛知・名古屋開催のアジア競技大会への競技入りに向けての情報収集に努めると同時に、開催地での会議に出席の中部支部との連携。

⑦ アスリート部会活動

・全日本選手権時期の移行に関して意見収集及び検討

・ワールドスカッシュデーでのイベント企画

・地域貢献活動など

地区支部委員会

- ① 安全性を重視した大会開催に関する課題・解決策の共有
- ② 各地区支部の活動状況と課題・解決策の共有
- ③ 各地区支部の意見集約と常務理事会への提言・提案を行う
 - ・ 常務理事会にて協議される事案に対する、地区支部の意見集約
 - ・ 地区支部意見を集約し、常務理事会への提言・提案の具申
- ④ 地区支部における会員数拡大のための施策検討

学連

◆ 創立 50 周年記念事業

- ・ 「公益社団法人日本スカッシュ協会創立 50 周年記念事業」の一環として記念誌作成予定。機関誌 92 号と合併したものを検討する。

収支予算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会
公益目的事業会計

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[3,000]	[3,000]	[0]
基本財産受取利息	3,000	3,000	0
受取会費	[14,650,000]	[9,149,000]	[5,501,000]
正会員受取会費	468,000	468,000	0
賛助会員個人受取会費	7,212,000	5,232,000	1,980,000
賛助会員団体受取会費	5,489,000	2,589,000	2,900,000
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	871,000	250,000	621,000
事業収益	[17,003,884]	[14,332,454]	[2,671,430]
補助金・委託金等収入	5,500,000	3,000,000	2,500,000
協賛金収入	6,820,400	2,281,400	4,539,000
入場料収入	225,000	225,000	0
参加料収入	4,456,900	6,886,900	△ 2,430,000
その他収入	0	1,416,446	△ 1,416,446
雑収入	1,584	522,708	△ 521,124
受取補助金等	[12,889,000]	[12,161,000]	[728,000]
民間補助金収入	4,200,000	3,700,000	500,000
国庫等助成金	8,689,000	8,461,000	228,000
受取寄付金	[1,250,000]	[500,000]	[750,000]
募金収益	1,250,000	500,000	750,000
雑収益	[0]	[1,000]	[△ 1,000]
受取利息	0	1,000	△ 1,000
経常収益計	45,795,884	36,146,454	9,649,430
(2) 経常費用			
事業費	[29,463,322]	[28,559,550]	[903,772]
コートフィー	2,422,700	2,726,400	△ 303,700
パンフレット	555,710	534,320	21,390
参加賞	432,296	649,000	△ 216,704
トロフィー・メダル	270,692	967,470	△ 696,778
保険代	66,104	78,100	△ 11,996
交通費	63,840	13,000	50,840
宿泊費	1,067,000	859,000	208,000
郵送費	235,310	129,500	105,810
雑費	1,043,800	1,320,000	△ 276,200
諸謝金	2,114,000	2,115,000	△ 1,000
旅費	374,525	379,525	△ 5,000
渡航費	4,319,000	2,895,300	1,423,700
滞在費	800,000	400,000	400,000
借料及び損料	657,800	657,800	0
消耗品費	95,178	95,178	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
スポーツ用品費	211,420	211,420	0
印刷製本費	3,551,238	3,266,113	285,125
通信運搬費	958,059	958,059	0
雑役務費	6,390,243	6,390,243	0
対象外経費	2,114,122	2,114,122	0
減価償却費	1,000,000	1,000,000	0
給付金支出	500,000	500,000	0
雑支出	220,285	300,000	△ 79,715
管理費	[16,032,562]	[14,486,904]	[1,545,658]
給与	9,234,816	8,088,860	1,145,956
旅費交通費	816,456	763,044	53,412
通信・運搬費	250,000	200,000	50,000
会議費	0	25,000	△ 25,000
消耗什器備品費	500,000	500,000	0
印刷製本費	10,000	10,000	0
光熱水料費	100,000	100,000	0
賃借料	2,052,000	2,000,000	52,000
社会保険料	1,500,000	1,300,000	200,000
負担金支出	700,000	700,000	0
公認会計士他費用	165,000	150,000	15,000
公益法人関連費用	284,290	250,000	34,290
登記費用	120,000	100,000	20,000
雑費	300,000	300,000	0
経常費用計	45,495,884	43,046,454	2,449,430
評価損益等調整前当期経常増減額	300,000	△ 6,900,000	7,200,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	300,000	△ 6,900,000	7,200,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	300,000	△ 6,900,000	7,200,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	300,000	△ 6,900,000	7,200,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	300,000	△ 6,900,000	7,200,000

収支予算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		
	公益目的事業	収益事業	法人会計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[0]	[0]	[3,000]
基本財産受取利息	0	0	3,000
受取会費	[7,325,000]	[0]	[7,325,000]
正会員受取会費	234,000	0	234,000
賛助会員個人受取会費	3,606,000	0	3,606,000
賛助会員団体受取会費	2,744,500	0	2,744,500
加盟金	305,000	0	305,000
公認料	435,500	0	435,500
事業収益	[17,002,884]	[0]	[1,000]
補助金・委託金等収入	5,500,000	0	0
協賛金収入	6,820,400	0	0
入場料収入	225,000	0	0
参加料収入	4,456,900	0	0
雑収入	584	0	1,000
受取補助金等	[12,889,000]	[0]	[0]
民間補助金収入	4,200,000	0	0
国庫等助成金	8,689,000	0	0
受取寄付金	[1,250,000]	[0]	[0]
募金収益	1,250,000	0	0
経常収益計	38,466,884	0	7,329,000
(2) 経常費用			
事業費	[29,463,322]	[0]	[0]
コートフィー	2,422,700	0	0
パンフレット	555,710	0	0
参加賞	432,296	0	0
トロフィー・メダル	270,692	0	0
保険代	66,104	0	0
交通費	63,840	0	0
宿泊費	1,067,000	0	0
郵送費	235,310	0	0
雑費	1,043,800	0	0
諸謝金	2,114,000	0	0
旅費	374,525	0	0
渡航費	4,319,000	0	0
滞在費	800,000	0	0
借料及び損料	657,800	0	0
消耗品費	95,178	0	0
スポーツ用品費	211,420	0	0
印刷製本費	3,551,238	0	0
通信運搬費	958,059	0	0
雑役務費	6,390,243	0	0
対象外経費	2,114,122	0	0
減価償却費	1,000,000	0	0

科 目	公益目的事業会計		
	公益目的事業	収益事業	法人会計
給付金支出	500,000	0	0
雑支出	220,285	0	0
管理費	[11,570,618]	[0]	[4,461,944]
給与	7,387,853	0	1,846,963
旅費交通費	653,165	0	163,291
通信・運搬費	200,000	0	50,000
消耗什器備品費	400,000	0	100,000
印刷製本費	8,000	0	2,000
光熱水料費	80,000	0	20,000
賃借料	1,641,600	0	410,400
社会保険料	1,200,000	0	300,000
負担金支出	0	0	700,000
公認会計士他費用	0	0	165,000
公益法人関連費用	0	0	284,290
登記費用	0	0	120,000
雑費	0	0	300,000
経常費用計	41,033,940	0	4,461,944
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,567,056	0	2,867,056
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,567,056	0	2,867,056
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,567,056	0	2,867,056
当期一般正味財産増減額	△ 2,567,056	0	2,867,056
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 2,567,056	0	2,867,056
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 2,567,056	0	2,867,056

収支予算書(収支)

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会
公益目的事業会計

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[3,000]	[3,000]	[0]
基本財産利息収入	3,000	3,000	0
会費収入	[14,650,000]	[9,149,000]	[5,501,000]
正会員会費収入	468,000	468,000	0
賛助会員個人会費	7,212,000	5,232,000	1,980,000
賛助会員団体会費	5,489,000	2,589,000	2,900,000
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	871,000	250,000	621,000
事業収入	[17,003,884]	[14,332,454]	[2,671,430]
補助金・委託金等収入	5,500,000	3,000,000	2,500,000
協賛金収入	6,820,400	2,281,400	4,539,000
入場料収入	225,000	225,000	0
参加料収入	4,456,900	6,886,900	△ 2,430,000
その他収入	0	1,416,446	△ 1,416,446
雑収入	1,584	522,708	△ 521,124
補助金等収入	[12,889,000]	[12,161,000]	[728,000]
民間補助金収入	4,200,000	3,700,000	500,000
国庫等助成金	8,689,000	8,461,000	228,000
寄付金収入	[1,250,000]	[500,000]	[750,000]
募金収入	1,250,000	500,000	750,000
雑収入	[0]	[1,000]	[△ 1,000]
受取利息	0	1,000	△ 1,000
事業活動収入計	45,795,884	36,146,454	9,649,430
2. 事業活動支出			
事業費	[28,463,322]	[27,559,550]	[903,772]
コートフィー	2,422,700	2,726,400	△ 303,700
パンフレット	555,710	534,320	21,390
参加賞	432,296	649,000	△ 216,704
トロフィー・メダル	270,692	967,470	△ 696,778
保険代	66,104	78,100	△ 11,996
交通費	63,840	13,000	50,840
宿泊費	1,067,000	859,000	208,000
郵送費	235,310	129,500	105,810
雑費	1,043,800	1,320,000	△ 276,200
諸謝金	2,114,000	2,115,000	△ 1,000
旅費	374,525	379,525	△ 5,000
渡航費	4,319,000	2,895,300	1,423,700
滞在費	800,000	400,000	400,000
借料及び損料	657,800	657,800	0
消耗品費	95,178	95,178	0
スポーツ用品費	211,420	211,420	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
印刷製本費	3,551,238	3,266,113	285,125
通信運搬費	958,059	958,059	0
雑役務費	6,390,243	6,390,243	0
対象外経費	2,114,122	2,114,122	0
給付金支出	500,000	500,000	0
雑支出	220,285	300,000	△ 79,715
管理費	[16,032,562]	[14,486,904]	[1,545,658]
給与	9,234,816	8,088,860	1,145,956
旅費交通費	816,456	763,044	53,412
通信・運搬費	250,000	200,000	50,000
会議費	0	25,000	△ 25,000
消耗什器備品費	500,000	500,000	0
印刷製本費	10,000	10,000	0
光熱水料費	100,000	100,000	0
賃借料	2,052,000	2,000,000	52,000
社会保険料	1,500,000	1,300,000	200,000
負担金支出	700,000	700,000	0
公認会計士他費用	165,000	150,000	15,000
公益法人関連費用	284,290	250,000	34,290
登記費用	120,000	100,000	20,000
雑費	300,000	300,000	0
その他の支出	[1,000,000]	[1,000,000]	[0]
その他の支出	1,000,000	1,000,000	0
事業活動支出計	45,495,884	43,046,454	2,449,430
事業活動収支差額	300,000	△ 6,900,000	7,200,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定預金取崩収入	[0]	[7,200,000]	[△ 7,200,000]
公益事業基金（大会開催）引当預金取崩収入	0	7,200,000	△ 7,200,000
投資活動収入計	0	7,200,000	△ 7,200,000
2. 投資活動支出			
特定預金支出	[300,000]	[300,000]	[0]
退職給付引当預金支出	100,000	100,000	0
トレセン建設引当預金支出	200,000	200,000	0
投資活動支出計	300,000	300,000	0
投資活動収支差額	△ 300,000	6,900,000	△ 7,200,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収支予算書内訳表(収支)

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		
	公益目的事業	収益事業	法人会計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[0]	[0]	[3,000]
基本財産利息収入	0	0	3,000
会費収入	[7,325,000]	[0]	[7,325,000]
正会員会費収入	234,000	0	234,000
賛助会員個人会費	3,606,000	0	3,606,000
賛助会員団体会費	2,744,500	0	2,744,500
加盟金	305,000	0	305,000
公認料	435,500	0	435,500
事業収入	[17,002,884]	[0]	[1,000]
補助金・委託金等収入	5,500,000	0	0
協賛金収入	6,820,400	0	0
入場料収入	225,000	0	0
参加料収入	4,456,900	0	0
雑収入	584	0	1,000
補助金等収入	[12,889,000]	[0]	[0]
民間補助金収入	4,200,000	0	0
国庫等助成金	8,689,000	0	0
寄付金収入	[1,250,000]	[0]	[0]
募金収入	1,250,000	0	0
事業活動収入計	38,466,884	0	7,329,000
2. 事業活動支出			
事業費	[28,463,322]	[0]	[0]
コートフィー	2,422,700	0	0
パンフレット	555,710	0	0
参加賞	432,296	0	0
トロフィー・メダル	270,692	0	0
保険代	66,104	0	0
交通費	63,840	0	0
宿泊費	1,067,000	0	0
郵送費	235,310	0	0
雑費	1,043,800	0	0
諸謝金	2,114,000	0	0
旅費	374,525	0	0
渡航費	4,319,000	0	0
滞在費	800,000	0	0
借料及び損料	657,800	0	0
消耗品費	95,178	0	0
スポーツ用品費	211,420	0	0
印刷製本費	3,551,238	0	0
通信運搬費	958,059	0	0
雑役務費	6,390,243	0	0
対象外経費	2,114,122	0	0
給付金支出	500,000	0	0
雑支出	220,285	0	0

科 目	公益目的事業会計		
	公益目的事業	収益事業	法人会計
管理費	[11,570,618]	[0]	[4,461,944]
給与	7,387,853	0	1,846,963
旅費交通費	653,165	0	163,291
通信・運搬費	200,000	0	50,000
消耗什器備品費	400,000	0	100,000
印刷製本費	8,000	0	2,000
光熱水料費	80,000	0	20,000
賃借料	1,641,600	0	410,400
社会保険料	1,200,000	0	300,000
負担金支出	0	0	700,000
公認会計士他費用	0	0	165,000
公益法人関連費用	0	0	284,290
登記費用	0	0	120,000
雑費	0	0	300,000
その他の支出	[1,000,000]	[0]	[0]
その他の支出	1,000,000	0	0
事業活動支出計	41,033,940	0	4,461,944
事業活動収支差額	△ 2,567,056	0	2,867,056
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定預金支出	[200,000]	[0]	[100,000]
退職給付引当預金支出	0	0	100,000
トレセン建設引当預金支出	200,000	0	0
投資活動支出計	200,000	0	100,000
投資活動収支差額	△ 200,000	0	△ 100,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△ 2,767,056	0	2,767,056
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	△ 2,767,056	0	2,767,056

第8章 第24条 第9章 第25条 第10章 第26条 第11章 第27条 附則 <u>(令和4年3月20日改訂理事会決議)</u>	第7章 第23条 第8章 第24条 第9章 第25条 第10章 第26条 (追加)
---	---

公益社団法人日本スカッシュ協会加盟団体規程

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人日本スカッシュ協会(以下「本協会」という)定款に規定された加盟団体に関する事項について定める。

(加盟団体の区分)

第2条 加盟団体は、地区支部団体、都府県支部団体、学生連盟(以下「学連」という。)団体、と区分する。

2 学連団体は全日本、北海道、東北、関東、関西、九州の各学連で構成される。

(加盟団体の使命)

第3条 加盟団体は、本協会の定款に定める本協会の目的及び事業に賛同し、本協会と連携し、協働するスカッシュ団体として、公正性、公平性を確保し、社会的存在としての責務を自覚した組織運営を行い、以下の取り組みを自主的・自律的に行う。

- (1) スカッシュ競技者、愛好者の権利を保護しながら、心身の健康促進、青少年の育成、及び安全の確保に配慮し、スカッシュの健全な普及・発展を図ること。
- (2) スカッシュ団体としての組織運営の透明性を確保し、コンプライアンス(法令遵守)とガバナンス(統治)の強化・充実を図ること。

(地域ブロック区分)

第4条 本協会の地区支部の区分は次のとおりとする。

日本スカッシュ協会北海道支部	北海道
日本スカッシュ協会東北支部	宮城県、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、新潟県
日本スカッシュ協会関東支部	東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、栃木県、群馬県、茨城県、山梨県
日本スカッシュ協会中部支部	愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、長野県、富山県、石川県、福井県
日本スカッシュ協会関西支部	大阪府、兵庫県、京都府、和歌山県、奈良県、滋賀県
日本スカッシュ協会中国四国支部	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

日本スカッシュ協会九州 支部	福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県 鹿児島県、宮崎県、沖縄県
-------------------	-------------------------------------

第2章 組織

(スカッシュ関係団体の組織)

第5条 加盟団体は、各地区、都府県、学連において、各スカッシュ競技統括団体として適切なる組織を有しなければならない。

- (1) 事業を行うのに必要な財政的基礎及び技術的能力を有していること。
- (2) スカッシュ競技における唯一の地区・都府県及び学連の統括団体であること。
- (3) 本協会の公認するスカッシュ大会やイベント、講習会、普及活動等を開催する活動意思を十分に有していること。

(正会員の選任と運営委員候補者の推薦)

第6条 加盟団体の代表者1名は、本協会の正会員となる事が出来る。

- 2 加盟団体は、当協会の運営委員候補者1名を理事会に推薦する事が出来る。

第3章 加盟団体への便益等

第7条 加盟団体は、次の便益等を受けることができる。

- (1) 本協会が行う加盟団体を支援する事業への参加、利用
※選手強化、大会公認、審判制度、コーチ制度、機関誌やHP、SNS等の広報事業、普及・振興事業、公式記録証明書発行、等
- (2) 本協会が加盟する機関から得る競技に関する情報の取得
※世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、等
- (3) 本協会が加盟する機関から得る情報のうち、本協会が提供可能な情報の取得
※スポーツ庁、日本オリンピック委員会、日本スポーツ協会、日本スポーツフェアネス推進機構、日本スポーツ仲裁機構、日本ワールドゲームズ協会、各種スポーツ団体等からの情報、等
- (4) 加盟団体としての公認大会の開催
公認大会の開催については別途公認大会運営マニュアルに定める。
※「公認大会運営マニュアル3.3.公認申請料支払い」により、JSA支部及び学生連盟の公認申請料は無料。
- (5) 加盟団体としての助成金、給付金の受給
※当該事業年度の事業報告書及び収支報告書を添えて申請された各支部の状況により常務理事会にて審議決定する。

第4章 加盟団体の義務

(遵守すべき事項)

第8条 加盟団体は関係法令及び加盟団体に適用される本協会規程等を遵守し第3条に定める使命を果たすよう努めなければならない。

2. 加盟団体は、暴力、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、差別等の不適切な行為の根絶に努めなければならない。
3. 加盟団体は反社会的勢力と一切の関係を持たないものとする。
4. 加盟団体は、ドーピング防止に積極的に取り組まなければならない。
5. 加盟団体は、スポーツに関する紛争について、公平で透明性のある手続によって解決するものとし、解決に向けて適切に対応しなければならない。

(報告及び届出義務)

第9条 加盟団体は、各団体の運営・事業又は活動に関する本協会からの問い合わせ等に対し、適切に対応しなければならない。

第10条 加盟団体は、毎事業年度開始1箇月前までに次の書類を提出しなければならない。

- (1) 当該事業年度の事業計画書
- (2) 収支予算書
- (3) 役員名簿

第11条 加盟団体は、毎事業年度終了後2箇月以内に次の書類を提出しなければならない。

- (1) 当該事業年度の事業報告
- (2) 収支報告書（貸借対照表が望ましい）

(加盟金)

第12条 加盟団体は、運営規則第5条に規定する加盟団体規模に応じた年次加盟金を、毎年7月末日までに定められた金額を納入しなければならない。

第5章 加盟及び脱退

(加盟)

第13条 運営規則第5条により新たに本協会の加盟団体になろうとする団体は、次の書類を本協会に提出し、理事会の承認を得なければならない。

- (1) 加盟申請書（事務所所在地及び連絡先を明記すること）
 - (2) 規約
 - (3) 役員一覧表
 - (4) 前年度事業概況書、当該年度事業予定表及び当該年度予算案
 - (5) その他本協会が必要と判断した資料
2. 加盟の承認を得た団体は、直ちに運営規則第5条に規定する加盟金を納付しなければならない。

(脱退)

第14条 加盟団体が脱退しようとする場合には、次の書類を本協会に提出し、理事現在数の過半数の同意を得なければならない。

- (1) 脱退願書
- (2) 脱退理由書

第6章 処分及び不服申立

(処分)

第15条 加盟団体が第5条に定める組織を有しないこととなったとき、第8条から第12条に定める義務を怠る等組織の管理運営に適正を欠いたとき、又は本協会の加盟団体として不相当と認められるときは、加盟団体に理事会における弁明の機会を与えた上、理事会の議決を経て、次の処分を行うことができる。

- (1) 指導
- (2) 勧告
- (3) 資格停止
- (4) 退会

(不服申立)

第16条 前条により処分された加盟団体が、処分通告後2週間以内に処分に対する不服の申し立てをすることができる。

第7章 その他

(加盟金等の精算)

第17条 加盟団体が第14条により脱退し、又は第9条から第12条違反により退会した場合、既に納付した加盟金等は、理由の如何を問わず返還しない。
また、脱退又は退会前に支払の義務が生じた加盟金等は、直ちに納付しなければならない。

(改廃)

第18条 本規程の改廃は、理事会の議決により行う。

附則1

- 1. 本規程は、令和4年4月1日から施行する。

日本代表選手並びに役員選考規程

公益社団法人日本スカッシュ協会

日本代表選手及び役員選考基本方針

日本代表は、活力ある日本を代表するに相応しい当協会の登録選手、登録役員をもって編成する。代表選手として選考され、尚且つそれを承諾した選手は、代表としての「権利」を取得すると同時に、代表選手に課せられた「義務」も遂行しなければならないと認識する事。選考に於いてはその基準等を明確にし、公表し透明性を図る。

第1章 総則

第1条 本規程は、公益社団法人日本スカッシュ協会（以下、「当協会」という）において、公式国際大会に選手を派遣するにあたっての代表選手選考及び役員選考手続きについて定める。

第2章 代表選手および役員選考委員会の設置

第2条 当協会に代表選手および役員選考委員会を設置する。その委員は、選手強化委員、常務理事、理事、事務局長によって構成され、委員長1名 委員5名以内とする。委員長は常務理事会の決議により会長が任命する。

第3章 代表選手選考について

第3条 代表選手選考対象者は、選考実施時に於いて、次の①から⑥をすべて満たした者とする。

- ① 当協会の会員として登録されており、国際競技参加資格〈国籍、年齢等〉を満たしている者。
- ② 選考委員会が定める選考基準を満たす者
- ③ 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守している者
- ④ その心身の健康状態等に照らし、当該競技会に参加できる見込みのある者
- ⑤ 当協会の強化計画を優先し活動できる者
- ⑥ 代表選手として選考される意思を有する者

第4条 代表選手選考委員会は、派遣対象となる競技大会に対する選考基準を明確に策定し公表しなければならない。

第5条 日本代表選手の選考手順は原則以下の通りとする。

- ① 選考委員会が、選手選考基準及び選考方法を作成し、常務理事会の承認を経て、選考実施の30日以上前にこれをホームページ上で公表する。
- ② 国際競技参加資格の確認、メダル獲得の可能性の審議、医学的観点などから日本代表選手として選出できるかどうかを検討する。
- ③ 代表候補選手に選考対象であることを知らせ、参加意思確認をする
- ④ 当該委員会により日本代表選手を決定する。
- ⑤ 派遣内定として、該当選手に通知するとともにHP等で公表する。

第4章 代表役員選考について

第6条 代表役員選考は以下のとおりとする

代表役員は、国代表及び当協会を代表として、派遣事業を総括かつ全般に管理し運営できる者を選出する。即ち競技、チームマネジメントのみならず、派遣に伴う支出について認識があり、経理処理、広報への協力が出来る者とする。帯同役員は、監督、コーチ、トレーナー、総務等を編成することができる。役員選考は常務理事会で審議・承認する

第5章 代表の解除

第7条 指定解除

下記①～⑧に該当した場合、当協会は、代表選手および役員指定を解除することができる。

- ① 正当な理由なく強化方針及び指示に従わない場合
- ② 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程違反を犯した場合
- ③ 代表選手として不適切な言動を行った場合
- ④ 怪我や疾病により強化活動に参加できなくなった場合
- ⑤ 代表選手または、役員本人から指定解除の申し出があった場合
- ⑥ 当協会強化計画を優先し活動できない場合

第8条 選考結果に対する不服申し立ては、公表後7日以内に、文書により行われたものについて受理し、当協会の選手強化委員長及びジュニアまたはシニア委員長と常務理事会で対応する。

この規定は令和4年4月1日から施行される